

4) 南大門

南大門は、四天王寺の正門で、現在の門は1985年（昭和60年）に再建されたものです。

内部には熊野権現礼拝石（くまのごんげんらいはいせき）が祀られています。

熊野詣に向かう

際は、まずここから大阪の南に位置する熊野を遙拝し、安全祈願を行ったのだと言われています。



5) 見真堂（けんしん堂）

石ノ鳥居を入れてすぐ左側にあります。極楽門の手前です。瓦屋根と赤い色が目立つ建物で中国様式ぽい感じがします。

親鸞聖人を顕彰して建立されたお堂です。赤色がとても映えて、「見真」の額とともに力強さを感じました。隣に親鸞聖人の大きな像が立っています。人通りの多い所です。

親鸞聖人は、聖徳太子を尊敬しており、聖徳太子ゆかりの六角堂に通い続けたところ、夢告を受け、法然上人の弟子となることに決めたという。そのために聖徳太子開基の四天王寺内に見真堂がある。

見真とは、明治9年（1876）に明治天皇から見真大師という大師号を贈られた親鸞聖人のこと。

浄土真宗の祖である、親鸞聖人を顕彰し、建立されたお堂です。本尊を阿彌陀如来とし、向かって右に聖徳太子像、左に六角名号の掛け軸が祀ってあります。露座の親鸞聖人（見真大師）の御像は、堂横に安置されています。

